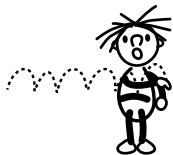


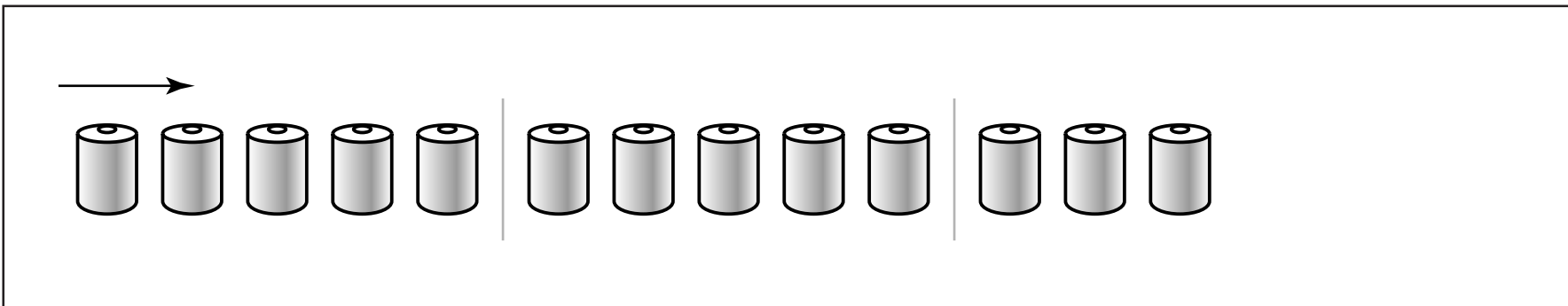
1) 乾電池を数珠で数え、隣接の欄に13と書かせる。
2) これを方眼タイル盤に書き入れていく。数のタイル盤には10までしかなく、残りはまた下から積み上げ。
3) 10までとどいたランプの数を光らせる。
4) 光ったランプの数と残りの電池の数を右下の欄に書く。

a) 数珠による計数は手続きの理解であり、10と3で13と構造的に理解するのは意味的(宣言的)理解である。
b) いずれにも数を扱う手段としてのも機能があり、両者の統合を図ることが必要。

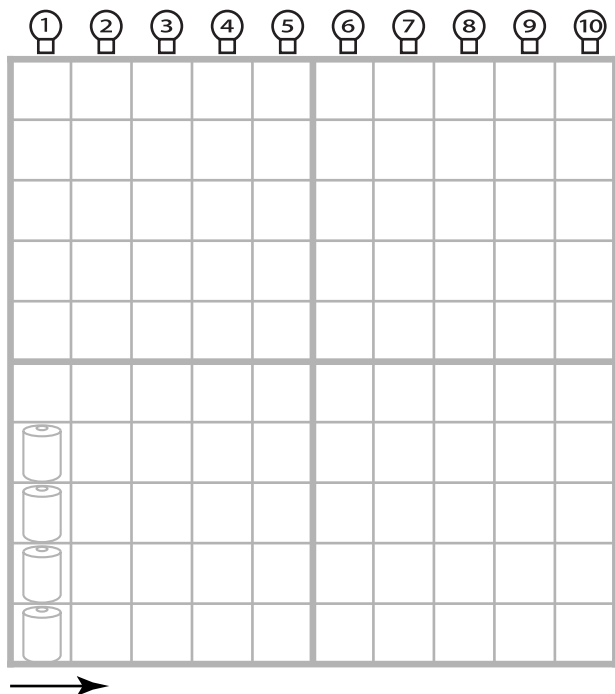
特定用具: 不要
Date:



かんでんちをかぞえて
かずを かいておこう。



10にとどくとランプがつくぞ!



かんでんちのかずだけ
マスにしるしをつけていく。

